

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価について

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業						
事業の概要	事業完了日	平成22年10月4日						
	総事業費	122,712千円			交付金額	40,904千円		
	整備対象地域	蔵王町宮地区、遠刈田地区						
	<b>事業の内容</b>							
	<p>ブロードバンドの整備されていない地域に光ファイバーケーブル網を敷設することにより、町内ほぼ全域に超高速ブロードバンド環境の整備を実現する。整備された超高速ブロードバンド環境を企業誘致対策や住民への情報サービス向上、及び住民のニーズに即したインターネットの活用を推進することにより、地域の活性化を図った。</p> <p>蔵王町全域（一部民間企業により施行）において、FTTH方式の光ファイバー網を整備し、インターネット等のブロードバンドサービスが利用できる環境を整備する。</p>							
BB	サービス開始日	平成22年10月15日						
	サービス形態	公設民営(IRU)						
	契約先	東日本電信電話株式会社						
		<b>整備計画時の目標</b>		<b>実績</b>				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780
	加入世帯数	445	890	817	1,018	1,191	1,293	1,376
	加入率(%)	25.0	50.0	45.8	57.2	66.9	72.6	77.3
評価及び課題	<p>サービス開始から順調に加入数が増加しており、整備計画の最終加入目標を大幅に超える結果となっている。現状から、住民へのニーズに即したインターネットの活用など、当初の目標を達成しつつあると一定の評価をしています。</p> <p>一方、今後の課題としてブロードバンド基盤の維持管理における経費の増大等により、財政の圧迫が懸念される。</p>							